現職教員の専門家としての可能性

高　橋　進
（都立白鴎高等学校教諭）

自分が派遣されたときの目的は、フィリピンの教員のための全国研修プログラム策定に関わり、その運営から内容まで全てが軌道になるようにすることの支援でした。中等教育の数学の専門家として参加したのですが、現地の数学教員は中等教育でも Mathematics1，2 担当の教員と Mathematics3，4 担当の教員というように分かれており、研修プログラムも細分化されてしまいとても 1 人で扱いきれるものではありませんでした。帰宅後や土日などの休日も費やさなくてはなりませんでした。また、現地のカウンターパートの人に心を開いてもらう必要があるのですが、これも困難でした。人間関係を壊さないようにすることを心がけ、次第にいい関係を構築し成功に導くことができました。

協力隊の OB の方には、専門家となっていただいて今後も活躍してもらいたい。また、専門家になれる機会を国が提供してあげていただきたい。